

第19回 関東産業衛生技術部会・研修会のご案内

関東産業衛生技術部会会長 田中茂（十文字学園女子大）

いざなぎ景気から世界を巻き込んだ金融不況と、近年、企業を取り巻く経済環境は著しく変化しています。それは非正規社員のみならず正規社員の雇用までも危ぶみ、労働者に対して不安という形のストレスとなって押し寄せています。また、一方で少子高齢化による労働力の確保と消費の拡大は、依然として今後の重要な課題として位置づけられています。

さて、このような世の中の変化を受けて、労働衛生管理も大きな変革期を迎えつつあると思います。それは、主流であった危険有害物による健康影響である職業病から、就労の際に被る様々なストレスによる健康影響、それは即ち、誰でもその対象となり得る問題へとその守備範囲と裾野を拡大しつつあります。これからの労働衛生管理は、単に病気だけに特化することではなく、健康は能力であると捉え、組織において人材のアウトプットを生み出すための基盤であると認識する必要があると思います。

さて、今回の研修会では、上述したとおり人材の活動基盤である健康を確保していくために、労働衛生管理活動において、産業医・保健師・衛生管理者のスタッフと人事部門や職場管理者との密接な連携の必要性について、具体的な事例を挙げながら検討するとともに、その中でも衛生管理者に焦点を当てて、人事部門と職場という実際の人材管理部門と産業医を中心とした産業保健スタッフの繋がりを円滑かつ有効にしているために、衛生管理者がそのパイプを繋ぎ、ハブ的な役割をすることが必要であると思われる。職場の人間関係や環境によるストレスは、単に健康に影響を及ぼすだけでなく、当然、仕事の効率や個人のモチベーションにも大きく影響してきます。健康でいれる環境や関係が、企業の風土でもあり、況や業績にも影響を及ぼしていると言っても過言ではありません。

労働衛生活動と衛生管理者の位置づけを改めて考え直すことは、これからの労働衛生管理を展開していく上では、今後さらに重要となる問題であります。

衛生管理者はもとより、産業保健スタッフ、人事労務担当者、職場管理者の皆様、それ以外の方々にも、この機会にぜひ研修会へご参加いただきたくご案内申し上げます。

- 日時：平成21年3月19日（木） 14：00 から 17：00 （13時より受付開始）
- 場所：慶應義塾大学医学部 予防校舎3階 講堂（地図、参照）
- 定員：100名 ●参加費：1000円（資料代として）
- 参加申し込み：（学会員以外でも参加できます。当日参加も可能ですが、座席を用意したいため、参加希望者は前もってご連絡頂ければ幸いです。）

連絡先：田中茂(stanaka@jumonji-u.ac.jp TEL 048-477-0555)

【 メインテーマ：衛生管理者の存在意義 】

14:00～14:30

保健師の立場より

諏訪良子 氏（労働衛生コンサルタント）

14:30から15:00

産業医の立場より

近藤えり 氏（いすゞ自動車）

15:00から15:30

衛生管理者、人事の立場より

對木博一 氏（ニコンビジネスサービス）

15:30から15:45

休憩

15:45から17:00

ディスカッション及び質疑応答

以 上

慶應義塾大学医学部 予防校舎3階 講堂

住所：東京都新宿区信濃町35

電話番号：03-5363-3758 (担当：岩澤聡子)

